学校番号	3028

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	(学)現代文探究	単位数	３単位	年次	３年次(文科)
使用教科書							
副教材等	「精選　論理国語」（明治書院）　「精選　文学国語」（三省堂） 「意味から習得―音訓別―重要頻出漢字リアルマスター3300」（尚文出版） 「高校生のための現代思想エッセンスちくま評論選　三訂版」（筑摩書房） 「現代文キーワード読解」（Ｚ会）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代文の力（語彙力、読解力、思考力、表現力、記述力）を発揮するためには、あらゆる知識を総動員する必要があります。社会の多様な事柄に積極的に関心をもち、自分のこととして考える習慣を持ちましょう。
・記述力を培うには、粘り強さが必要です。「優れた文章の美点を分析する」「自分自身で何度も書き、自己添削する／添削してもらう」経験を繰り返す努力によって、記述力が身に付きます。
・相当な時間と、精神的エネルギーを注入して初めて、「現代文」で扱う内容を捉える力が養われます。授業にも自主学習にも、真摯に取り組んでください。その積み重ねが、みなさんの視野をいっそう開き、確かな現代文の力を培ってくれます。みなさんの積極的な姿勢に期待しています。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価できる。
・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
・文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうことができる。
・批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすることができる。
・収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現することができる。
・語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
・ 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	言葉の特徴やきまりをはじめとした、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。また、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的・批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	評論文や実用文を理解するⅠ ［教材］ 近現代評論文	a:論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で積極的に活用している。情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について十分に理解し、さまざまな場面で応用して使っている。 b[読]:評論という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握している。ヒトの社会性と「共感」について、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深め再構成している。 c:本文の内容を踏まえて「共感」という感情の意義について話し合い、自分の考えを深めるとともに話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	・ノート ・定期考査 ・パフォーマンス課題	・ノート ・定期考査 ・パフォーマンス課題	・パフォーマンス課題
	小説・詩歌・随想を理解するⅠ ［教材］ 近現代小説	a:情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を十分に増し、文章の中で適切に活用することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について十分に理解を深めており、積極的に読書を行っている。 b[書]:スピーチ原稿を書くために、選んだ題材に応じて有効な情報を適切に収集、整理して、表現したいことを明確にしている。聞き手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を効果的に工夫している。 c:本教材から学習したことやその他の作品を踏まえ、効果的に言葉を用いながら、工夫を凝らしたスピーチ原稿を作成しようとしている。	・ノート ・定期考査 ・パフォーマンス課題	・ノート ・定期考査 ・パフォーマンス課題	・パフォーマンス課題
	評論文や実用文を理解するⅡ ［教材］ 近現代評論文	a:文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深め、自らの主張に積極的に取り入れている。 b[読]:内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握している。主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味し、内容を正しく解釈し、考察している。 c:筆者の主張を正しく理解し、わかりやすくまとめようとしている。また、参考資料と重ねて読むことでテーマについての理解をより深め、自分自身が生きることの意味について考察を深めている。	・ノート ・定期考査 ・パフォーマンス課題	・ノート ・定期考査 ・パフォーマンス課題	・パフォーマンス課題
	小説・詩歌・随想を理解するⅡ	a:短歌における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使用してい	・ノート	・ノート	・パフォーマ

	［教材］ 近現代詩歌	る。俳句における文体の特徴や修辞などのさまざまな表現の技法について、体系的に理解し効果的に使用している。 b[読]:語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について細部にわたって評価することを通して、適切に内容を解釈している。俳句・短歌の特徴や修辞の働きなどを十分に考慮して、読み手を引き付ける工夫を理解している。 c:本教材から学習したことやその他の作品を踏まえ、効果的に言葉を用いながら、工夫を凝らした批評をしている。	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・定期考査 ・パフォーマンス課題	ンス課題
後期	評論文や実用文を理解するⅢ ［教材］ 近現代評論文	a:文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深め、自らの主張に積極的に取り入れている。 b[書]:情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠を確実にそろえている。伝えたいことが的確に伝わるように、文章の構成や展開、表現の仕方などを吟味し、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直し、自分の表現に役立てたりしている。 c:本文内容を踏まえて、筆者の考えについてどう思うか話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	・ノート ・定期考査 ・パフォーマンス課題	・ノート ・定期考査 ・パフォーマンス課題	・パフォーマンス課題
	小説・詩歌・随想を理解するⅢ ［教材］ 近現代随想	ａ：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを十分に理解している。人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について十分に理解を深めており、積極的に読書を行っている。 b[読]:小説という文章の種類を踏まえて、その特徴を十分に理解し、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を適切に捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を十分に深めている。 c:本文の内容を踏まえて話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	・ノート ・定期考査 ・パフォーマンス課題	・ノート ・定期考査 ・パフォーマンス課題	・パフォーマンス課題
	評論文や実用文を理解するⅣ ［教材］ 近現代評論文	a:論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で積極的に活用している。情報を適切に整理し、さまざまな場面で応用して使っている。 b[読]:文章の構成や見出しなどの表現の仕方について、多面的・多角的な視点から評価し、書き手の意図を正確に把握している。参考資料との関係を正確に把握し、内容を的確に捉え、考察を深めている。 c:論理の展開に沿って筆者の主張を正しく理解し、わかりやすくまとめようとしている。本文内容を踏まえて、自分の帰属する社会だけでなく、さまざまな社会との関わりを具体的に意識している。	・ノート ・定期考査 ・パフォーマンス課題	・ノート ・定期考査 ・パフォーマンス課題	・パフォーマンス課題

	小説・詩歌・随想を理解するⅣ ［教材］ 近現代小説	a:多様な文章における文体の特徴や修辞などのさまざまな表現の技法について、体系的に理解し効果的に使用している。人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について十分に理解を深めており、積極的に読書を行っている。 b[書]:文章を書くために、選んだ題材に応じて有効な情報を適切に収集、整理して、表現したいことを明確にしている。文体の特徴や修辞の働きなどを十分に考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう効果的に工夫している。 c:物語を創作するにあたって、教材から学習したことを踏まえたり、言葉を効果的に用いたりする工夫をしようとしている。	・ノート ・定期考査 ・パフォーマンス課題	・ノート ・定期考査 ・パフォーマンス課題	・パフォーマンス課題

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　１００　）時間